

第 14 回 長野広域連合ごみ処理施設整備計画等専門委員会 議事録

[日 時] 平成 24 年 8 月 21 日 (火) 13:30～16:55

[会 場] 東京ステーションコンファレンス

[出席者] 専門委員 6 名

長野広域連合 7 名

(一財)日本環境衛生センター 1 名

(株)エイト日本技術開発 1 名

委員会議事録概要

(1) 第 13 回委員会議事録の承認

議事録について承認された。

(2) A 焼却施設 管理運営等調査検討報告書について

A 焼却施設の管理運営に関する事業性評価と事業実施における課題を中心に説明し、協議した。

<委員意見等>

- ・ 基本的にごみ量ごみ質の変動リスクについては、提示したごみ量ごみ質の範囲内でのリスクは民間事業者が主に対応し、それから外れた場合のリスクは公共側だと思う。
- ・ DBO 方式や長期包括委託方式は、行政としての処理責任を全うするという事と、財政負担の軽減という 2 つの観点から、一番バランスが取れている。

(3) A 焼却施設の配置及び動線について

A 焼却施設周辺の整備計画を含めた施設配置と動線の検討にあたって、基本条件を協議した。

<委員意見等>

- ・ 市民から見れば、長野市が管理する資源化施設も、広域連合が管理する焼却施設も、同じ公共施設なので、訪れた市民にあまり不都合が生じないようなサービスやデザインの仕方を考える必要があると思う。

(4) B 焼却施設の高効率発電について

B 焼却施設において高効率発電を進めるにあたっての留意点を協議した。

<委員意見等>

- ・ B 焼却施設の効率的な発電を考えると、2 炉運転を維持することが 1 つの大きな前提条件になると思う。
- ・ 施設が AB 複数あるのはいいと思う。1 か所だと確かに発電面からはいいけれども、ごみ処理面からみた場合はバックアップ機能をもっていた方がいい。また、3.11 では、停電によって施設が稼働できず、ごみ処理が滞るということがあったので、まずは災

害時の電力を確保したい。その次として、定量化運転による発電量の最大化や効率的な発電を考えた方がいいと思う。

(5) 最終処分場の建設に係る課題、地形計測結果について

最終処分場の建設に係る課題と地形計測結果について説明し、協議した。

<委員意見等>

- ・敷地面積をどのようにするか。埋立面積、付帯施設、水処理施設、防災調整池、緩衝緑地帯等、かなりの敷地が必要になってくるので、まずはそこを決めてから先に進めた方がいいと思う。
- ・処分場を造ることによって、周辺の地盤を安定的に、より堅牢なものにするということも可能だと思う。